

日本マイクロソフト株式会社との協定について

区のDXの取組を一層推進するため、日本マイクロソフト株式会社と協定を締結する。

1 協定締結の目的

DXの推進について豊富な知見を有する日本マイクロソフト株式会社との連携を通じて、区のDX推進の取組を一層加速させ、行政事務の効率化及び区民サービスの向上を図る。

2 協定の主な内容

以下の項目について連携する。

- (1) デジタルスキルの高い人材の育成に関すること。
- (2) 行政事務のデジタル化・業務改善に関すること。
- (3) デジタル社会の推進に関すること。

※協定に基づく連携内容の案(概略)は別紙のとおり。

3 協定期間

協定締結日から令和7年3月31日まで

4 協定締結予定日

令和4年7月下旬

5 今後の展開

- (1) 協定締結後、協定内容に定める項目を効果的に推進するため、定期的に協議の場を設け、適宜成果を検証しながら進める。
- (2) 今後、他の事業者から区のDX推進に寄与する提案等がある場合は、協力体制の構築等について検討する。
- (3) 今回の協定の内容は、協定締結当初の取組内容であり、成果等を見極めて他分野への協定の広がりについても検討する。

協定に基づく連携内容の案（概略）

(1) デジタルスキルの高い人材の育成に関すること

ア. デジタルスキル向上をテーマとした職員向け研修の実施

管理職及び一般職員を対象とし、日本マイクロソフト株式会社の有識者による行政DXの基本的な知識習得と意識啓発を目的とした研修を実施する。



イ. 日本マイクロソフト株式会社との人材交流

日本マイクロソフト株式会社の社員や役員等とのオンラインミーティングを定期的で開催する。ミーティングのテーマは「マイクロソフト社員の働き方」などとし、マイクロソフトの企業文化や組織風土を職員が吸収し、組織の活性化を図る。

(2) 行政事務のデジタル化・業務改善に関すること

ア. 広聴機能の効率化に向けた実証実験・試行

メールや電話、窓口など多様な手段で寄せられる区民の声を効率的に集約・分析し、区民サービスの向上に繋げるため、AIツール等を活用した実証実験・試行を行う。

イ. 業務効率化ツール活用ワークショップの開催

マイクロソフトが提供する業務効率化ツール「Power Platform*（パワープラットフォーム）」を活用するための職員向けワークショップを開催する。

*パワープラットフォーム

高度なプログラミングの知識なしに業務の自動化やデータ分析、アプリの作成等を行うことができる業務効率化ツールのこと。



(3) デジタル社会の推進に関すること

ア. 行政手続のオンライン化推進のためのデータ分析・研究

区が保有する行政手続オンライン化に関する調査結果を日本マイクロソフト株式会社と共同で分析・研究することで、より多様な行政サービス提供のあり方等の検討を行う。



イ. 区のシティプロモーション及び観光施策推進のための分析・研究

デジタル技術を活用した観光施策推進等について日本マイクロソフト株式会社と共同で分析・研究することで、より多様な観光施策等のあり方について検討を行う。